

平成29・30年度
スポーツ外傷防止教育普及委員会報告書

一般社団法人 日本学校歯科医会
スポーツ外傷防止教育普及委員会

ま え が き

我が国の児童生徒等の歯・口の健康づくりの取り組みは、これまでむし歯予防を中心に展開され、成果を上げてきた。しかしながら、近年、歯周病や咀嚼・摂食にかかわる口腔機能の未発達、歯・口の外傷などの課題が指摘されている。

このような中、これまで、「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」(文部科学省)では、外傷防止を歯・口の健康づくりの重要な課題のひとつとして取上げ、多くの取り組みが試行されてきた。例えば、日本スポーツ振興センターにおいて平成14年から実施した安全教育研究校による研究実践、日本学校歯科医会でのスポーツ歯科と安全に関する資料等の作成、生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり推進事業での安全に関する実践的研究の実施、スポーツ庁委託(日本スポーツ振興センター受託)によるスポーツ事故防止対策推進事業での調査やDVD教材の作成配布等々である。

しかしながら、学校等での歯・口の安全に関する取り組みは、必ずしも浸透せず、体育・スポーツ活動における歯・口の障害事故が、中・高等学校では約4割を占めるなど、放置できない状況である。

そのような状況の中、本調査研究においては、東京オリンピック・パラリンピックに向けて学校での体育・スポーツ活動が活発となってきたりしており、学校健康教育の重要な一翼を担う日本学校歯科医会が、障害事故の多い野球に絞り、今後のスポーツ外傷防止教育の普及に関して実践的な研究を行なうこととした。

具体的には、平成29年度及び30年度の2か年にわたり、日本高等学校野球連盟を初め関係機関・団体等と連携し、これまでの「歯・口の健康づくり」等の成果と学校保健安全法の趣旨を踏まえつつ、生涯にわたる健康づくりを支える重要な基盤として、高等学校野球部2校を指定し、野球を中心とした学校のスポーツ活動における歯・口の外傷防止教育の普及推進を目指し、学校歯科保健のさらなる充実と子供の生きる力の育成に資することを目的として当事業を具体的に実施してきた。

その中で、野球部活動におけるマウスガード使用のための手順や方法、生徒の意識等について一定の成果を上げたものの、衛生管理や生徒の意識の低下防止、具体的な実施方法の改善に加え、全国の各地域学校等でどのように普及するか、それに学校歯科医がどう関わるかなど明らかにすべき重要な課題も浮かび上がってきている。それらを明らかにするためには、本調査研究を継続しさらなる深化と普及啓発の方法を探ることが必要であることで、全委員の意見が一致したことも申し添えておく。

本報告書は、本委員会の2か年の調査研究の経緯と成果、そして明らかになった課題を、可能な限り具体的かつ詳細に掲載しており、巻末に、歯・口の外傷防止に関する教育、相談等に協力可能な歯科医師(団体)の名簿も掲載している。掲載内容とともに、全国の各地域・学校等での取り組みに役立てていただければ幸いである。

最後に、積極的に取り組みを進め情報を提供いただいた浦和学院高等学校及び埼玉県立川越工業高等学校、本事業の実施に当たって絶大なご支援をいただいた日本高等学校野球連盟、明海大学、東京医科歯科大学、スポーツ歯科医学会、日本スポーツ振興センター、埼玉県歯科医師会など関係機関・団体に深甚なる謝意を表するとともに、引き続きご支援・ご鞭撻をお願い申し上げて報告書の序とする。

一般社団法人 日本学校歯科医会
スポーツ外傷防止教育普及委員会
委員長 戸 田 芳 雄

目 次

ま え が き		(頁)
1. 諮問事項及び委員等名簿		2
2. 活動の概要		
(1) 全体		3
(2) 研究指定校		
浦和学院高等学校		8
埼玉県立川越工業高等学校		10
3. 調査結果		
(1) 安全に関する意識調査結果		12
(2) マウスガードアンケート調査結果		15
(3) 保護者調査結果		19
4. 成果と課題		22
あ と が き		23
【付録】		
1 学校管理下における災害共済給付資料(障害見舞金を支給した事故)		24
2 歯・口の外傷防止に関する教育、相談等に協力可能な歯科医師等の名簿		
一般社団法人日本学校歯科医会加盟団体		28
一般社団日本スポーツ歯科医学会会員(URL)		30
3 調査票		31

1. 諮問事項及び委員等名簿

(1) 諮問事項

川本強会長から、スポーツ外傷防止教育普及委員会が諮問を受けた事項は、以下の通りである。

諮問事項1 スポーツ歯科の普及についての調査研究

(主旨)

これまで、「生きる力をはぐくむ学校での歯・口の健康づくり」(文部科学省)で歯・口の健康づくりの重要な課題として取り上げ、日本スポーツ振興センターで平成14年から実施した研究校による研究実践や日本学校歯科医会でのスポーツ歯科と安全に関する資料等の作成、スポーツ庁委託(日本スポーツ振興センター受託)によるスポーツ事故防止、推進事業での調査やDVD教材の作成配布など、取り組みを進めてきた。現在、東京オリンピック・パラリンピックに向けて学校での体育・スポーツ活動が盛んになってきている。

そこで当委員会に、障害が多発している野球に絞って、今後の普及に関して実践的な調査を諮問する。

(2) 委員等名簿

(敬称略順不同)

委員長	戸田芳雄	学校安全教育研究所代表
副委員長	田名部和裕	公益財団法人日本高等学校野球連盟理事
委員	安井利一	明海大学学長(口腔衛生学)
委員	渡邊正樹	東京学芸大学教授、日本安全教育学会理事長
委員	上野俊明	東京医科歯科大学准教授(スポーツ医歯学分野)
委員	山崎敏彦	一般社団法人大阪府学校歯科医会
委員	山本哲也	公益社団法人神戸市歯科医師会
アドバイザー	松本 勝	明海大学准教授(口腔衛生学)
アドバイザー	朝倉博美	日本スポーツ振興センター学校安全部長
オブザーバー	高間 薫	浦和学院高等学校副校長
オブザーバー	土屋政広	埼玉県立川越工業高等学校野球部長(教諭)
担当役員	柘植紳平	一般社団法人日本学校歯科医会副会長
担当役員	江口康久万	一般社団法人日本学校歯科医会常務理事
担当役員	鈴木 博	一般社団法人日本学校歯科医会理事
担当役員	山形光孝	一般社団法人日本学校歯科医会理事

1. 平成29年度の委員会活動の概要

(1) 委員会の開催

＜第1回委員会＞平成29年9月4日(月)10:30～12:00 歯科医師会館 3階会議室
 (出席者) 委 員 戸田芳雄、安井利一、渡邊正樹、上野俊明、田名部和裕、山崎敏彦、山本哲也
 アドバイザー 松本勝、朝倉博美(代理米山尚子)
 オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)、土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
 役 員 川本強会長、柘植紳平副会長、長沼善美専務理事、江口康久万担当常務理事、
 鈴木博担当理事、山形光孝担当理事
 内 容 実施要項確認、平成29年度の活動計画、ワーキンググループの設置他

＜第2回委員会＞平成30年2月14日(水)10:30～12:30 歯科医師会館 3階会議室
 (出席者) 委 員 戸田芳雄、田名部和裕、安井利一、上野俊明、山崎敏彦、山本哲也
 アドバイザー 松本勝、朝倉博美(代理米山尚子)
 オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)、土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
 役 員 川本強会長、柘植紳平副会長、長沼善美専務理事、江口康久万担当常務理事、
 鈴木博担当理事、山形光孝担当理事
 内 容 平成29年度の活動報告(中間)、次年度の活動について他

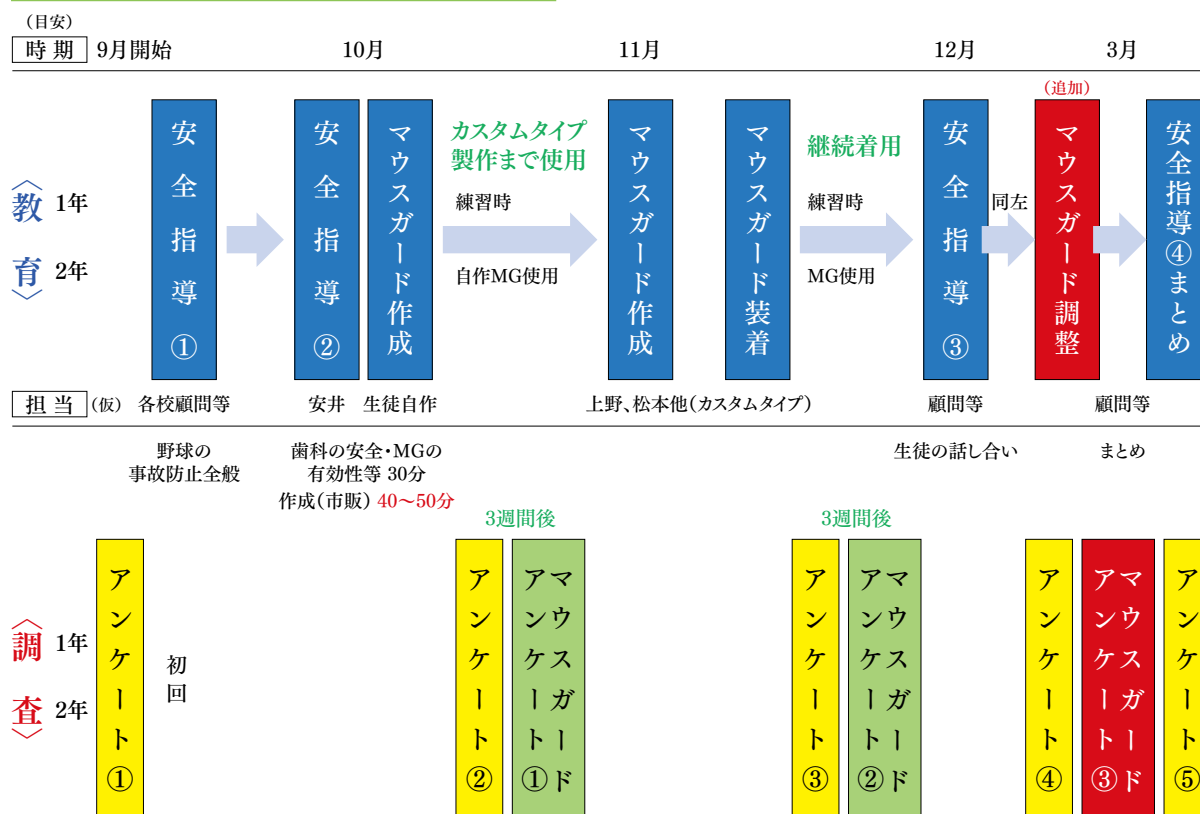
(2) ワーキンググループ開催

＜第1回＞第1回委員会終了後
 (出席者) 戸田芳雄、安井利一、渡邊正樹、上野俊明、松本勝
 高間薫(浦和学院高等学校副校長)、土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
 柘植紳平副会長、江口康久万担当常務理事、鈴木博担当理事
 ＜第2回＞平成30年1月29日(月)13:00～ 歯科医師会館 4階会議室
 (出席者) 松本勝、安井利一、上野俊明、戸田芳雄
 高間薫(浦和学院高等学校副校長)、土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
 江口康久万担当常務理事、鈴木博担当理事
 内 容 平成30年度の事業計画案の検討、日本高等学校野球連盟の安全シンポジウムへの資料提供他

(3) 研究指定校への実地指導等

- ① 安全指導及びマウスガード作成指導等
- ② 委員の参観及び活動状況の視察等

平成29年度 活動の流れ (概念図)



(4) 安全指導及び調査

< 安全指導等 >

* MGは、マウスガード

	浦和学院高等学校			川越工業高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
第1回安全指導	9月下旬	56	高間	9月下旬	45	土屋
第2回安全指導	10/3 15:30	56	安井、松本	10/2 14:00	45	安井、松本
市販MG作成実習	10/3 15:30	56	安井、松本	10/2 14:00	45	安井、松本
カスタムタイプのMG作成	10/7	56	松本、上野	10/8	45	松本、上野
同MG装着	11/3	56	松本、上野	11/4	45	松本、上野
MGの調整	3/24	56	松本、上野	3/3	45	松本、上野
第3回安全指導	12/17	56	高間	12月中旬	45	土屋
第4回安全指導	1月下旬	56	高間	1月下旬	45	土屋

< 調 査 >

* MGは、マウスガード

	浦和学院高等学校			川越工業高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
アンケート①	9月中旬	56	高間	9月中旬	45	土屋
アンケート②	10月上旬	56	高間	10月上旬	45	土屋
MGアンケート①	10月上旬	56	高間	10月上旬	45	土屋
アンケート③	11月中旬	56	高間	11月中旬	45	土屋
MGアンケート②	11月上旬	56	高間	11月上旬	45	土屋
アンケート④	12月下旬	56	高間	12月下旬	45	土屋
アンケート⑤	1月下旬	56	高間	1月下旬	45	土屋
MGアンケート③	3月下旬	56	高間	3月下旬	45	土屋

(4) 普及啓発活動

研究指定校における啓発・HP掲載等、埼玉県高等学校野球連盟・日本高等学校野球連盟での研修会への資料提供などを実施。

2. 平成30年度の委員会活動の概要

(1) 委員会の開催

＜第1回委員会＞平成30年5月11日(金)16:00～18:00 歯科医師会館 701会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、田名部和裕、安井利一、上野俊明、山崎敏彦、山本哲也
アドバイザー 松本勝、朝倉博美(代理米山尚子)
オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)
役 員 川本強会長、柘植紳平副会長、長沼善美専務理事、江口康久万担当常務理事、
鈴木博担当理事、山形光孝担当理事

内 容 平成30年度の活動計画及び予算、安全及びMG意識調査結果の分析と検討他

＜第2回委員会＞平成30年10月18日(木)10:00～12:00 歯科医師会館 702会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、田名部和裕、安井利一、上野俊明、山崎敏彦、山本哲也
アドバイザー 朝倉博美(代理米山尚子)
オブザーバー 高間 薫(浦和学院高等学校副校長)
土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)

役 員 柘植紳平副会長、長沼善美専務理事、江口康久万担当常務理事、
鈴木博担当理事、山形光孝担当理事

内 容 平成30年度の活動報告(中間)、報告書の内容、執筆分担、第26回日本学校歯科保健・
教育研究大会への協力、次年度の活動継続について他

＜第3回委員会＞平成31年2月13日(水)14:00～16:00 歯科医師会館 701会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、安井利一、渡邊正樹、上野俊明、田名部和裕、山崎敏彦、山本哲也
アドバイザー 松本勝、朝倉博美(代理米山尚子)
オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)、土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
役 員 川本強会長、柘植紳平副会長、長沼善美専務理事、江口康久万担当常務理事、
鈴木博担当理事、山形光孝担当理事

内 容 平成30年度活動報告、報告書内容確認他

(2) ワーキンググループ開催

＜第1回＞平成30年5月11日(金)15:00～15:50 歯科医師会館 701会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、安井利一、上野俊明、松本勝
オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)
役 員 江口康久万担当常務理事、鈴木博担当理事、山形光孝担当理事
内 容 30年度の活動計画、研究指定校への指導打ち合わせ他

＜第2回＞平成30年6月8日(金)15:30～17:30 歯科医師会館 4階 会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、渡邊正樹委員、上野俊明、田名部和裕副委員長、松本勝
オブザーバー 土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)
役 員 江口康久万担当常務理事
内 容 安全及びMG意識調査結果の分析と検討、MG調査の内容改善、保護者調査の実施他

＜第3回＞平成30年8月30日(木)10:00～12:00 歯科医師会館 701会議室
(出席者)委 員 戸田芳雄、上野俊明、山本哲也

オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)

土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)

役 員 柘植紳平副会長、江口康久万担当常務理事、鈴木博担当理事、山形光孝担当理事

内 容 報告書の内容、執筆分担、第26回日本学校歯科保健・教育研究会への協力、啓発活動について他

<第4回>平成30年10月18日(木)12:00~13:00 歯科医師会館 702会議室

(出席者)委 員 戸田芳雄、安井利一、上野俊明、山崎敏彦、山本哲也

オブザーバー 高間 薫(浦和学院高等学校副校長)

土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)

役 員 江口康久万担当常務理事

内 容 報告書の内容、執筆分担決定、普及啓発活動の実施、第26回日本学校歯科保健・教育研究大会への協力について他

<第5回>平成30年12月21日(金)15:00~17:00 歯科医師会館 701会議室

(出席者)委 員 戸田芳雄、田名部和裕、上野俊明、山本哲也、山崎敏彦

オブザーバー 高間薫(浦和学院高等学校副校長)

土屋政広(川越工業高等学校野球部長・教諭)

役 員 柘植紳平副会長、江口康久万担当常務理事

内 容 報告書原稿の推敲・検討他

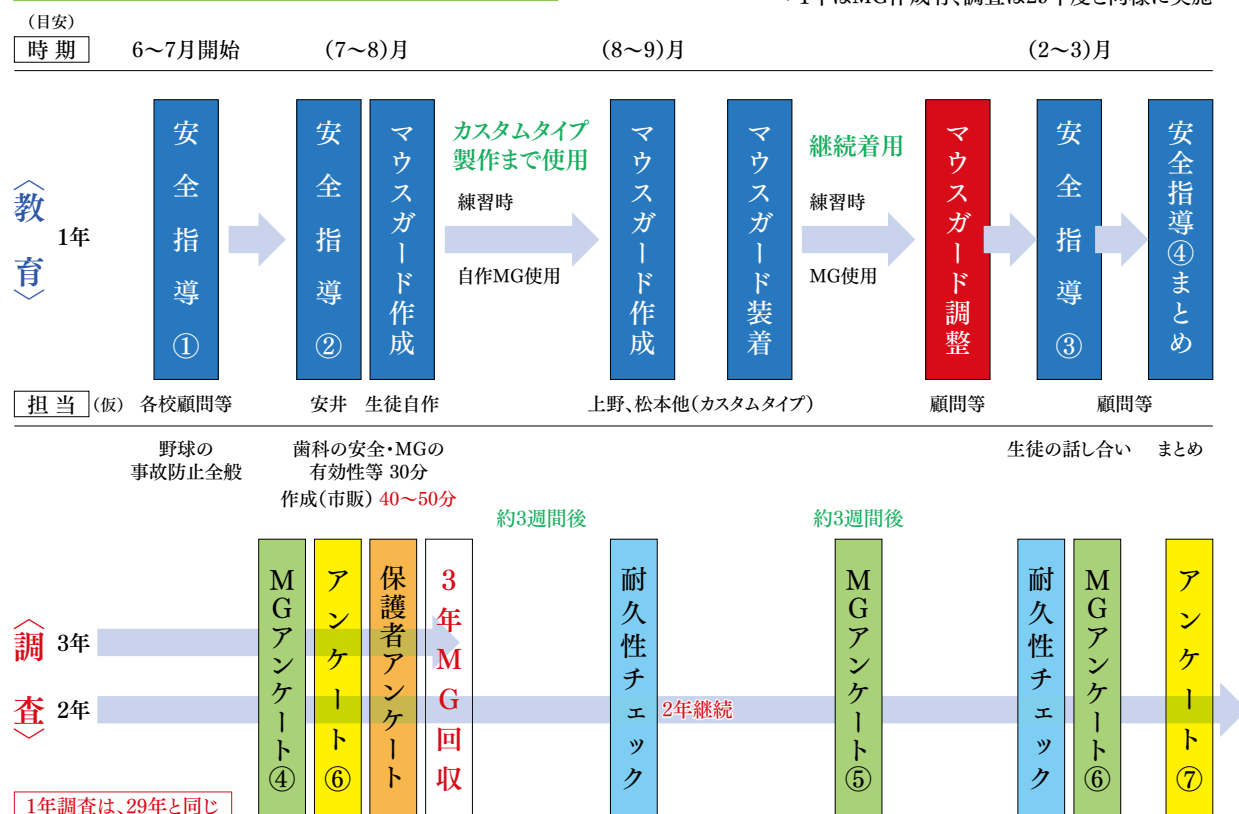
(3) 研究指定校への実地指導等

① 安全指導及びマウスガード作成指導等

② 委員の参観及び活動状況の視察等

平成30年度 基本的な活動の流れ

*1年はMG作成有、調査は29年度と同様に実施



(4) 安全指導及び調査

< 安全指導等 >

* MGは、マウスガード

	浦和学院高等学校			川越工業高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
アンケート⑥	7/3	53	高間	7月中旬	45	土屋
アンケート⑦	H31/1～3月	22	高間	2月下旬	21	土屋
第1回安全指導	6/12	90	高間	7月下旬	69	土屋
第2回安全指導	6/15 15:00	37	安井、松本	7/23 13:00	24	安井、松本
市販MG作成実習	6/15 15:30	37	安井、松本	7/23 13:00	24	安井、松本
カスタムタイプのMG作成	7/5 15:00	37	松本、上野	8/23 13:00	24	松本、上野
同MG装着	7/31 13:00	37	松本、上野	9/27	24	松本、上野
MGの調整	12/6以降予定	44	松本、上野	12/20	45	上野
第3回安全指導	1月下旬	44	高間	11月下旬	45	土屋
第4回安全指導	2月下旬	44	高間	2月下旬	45	土屋

< 調 査 >

* MGは、マウスガード

	浦和学院高等学校			川越工業高等学校		
	日 時	生徒数	主な指導者	日 時	生徒数	主な指導者
アンケート①	6/12	37	高間	7月中旬	24	土屋
アンケート②	6/27	37	高間	7月下旬	24	土屋
MGアンケート①	7/3	37	高間	10月上旬	45	土屋
保護者アンケート	7月上旬	53	高間	8月上旬	42	土屋
アンケート③	9/4	62	高間	10月中旬	45	土屋
MGアンケート②	9/4	62	高間	11月中旬	45	土屋
アンケート④	1月上旬	62	高間	11月中旬	45	土屋
アンケート⑤	1月下旬	62	高間	2月下旬	45	土屋
MGアンケート③	3月下旬	62	高間	2月下旬	45	土屋

(5) 普及啓発活動

研究指定校における啓発・HP掲載等、埼玉県高等学校野球連盟・日本高等学校野球連盟での研修会への資料提供、日本学校歯科保健・教育研究会での啓発などを実施。

マウスガードによる安全教育の推進

浦和学院高等学校

全校で2900名を超える生徒が在籍する本校では公共スペースでの生徒密度が高くなり、校内においても外傷が発生しやすい状況である。そこで安全教育に注力するようになり健康と安全推進部と外傷防止推進委員会を中心に各種の取り組みを進めている。



状況を変えて教職員と生徒が一体となった研修を実施



救急シミュレーション研修にて教員同士の連携を確認



救急シミュレーション研修にて教員と生徒の連携を確認



救急シミュレーション研修にてAED使用と胸骨圧迫の練習



体育科教員と運動部活動顧問による怪我の減少を目指し、怪我予防策を検討する



運動部活動主将による外傷防止ワークショップの開催

自転車事故防止を目的とした自転車講習会の実施

マウスガードによる野球部での安全教育

90名近い生徒が在籍する野球部であり、硬式ボール・金属バットの使用など危険性の高い競技である。連盟の規定により安全対策は徹底されているが事故数の比較では事故の多い競技とされている。中でも歯牙と眼球に関する外傷は全体の8割を占めている。2017年より、継続的に歯牙に関する外傷防止を中心として部活動中の安全教育に取り組んでいる。



安全指導①



安全指導②



市販タイプの自作



MG型取り



MGカスタムタイプ



MG微調整



トレーニングにて



フェイスガードⅠ



フェイスガードⅡ

①指導者の意見

安全指導は継続的に実施する必要性を感じた。
指導により外傷防止に関する指導者と選手の共通意識が生まれた。
MGをすることにより安心感がある。

②保護者の意見

部活動中の怪我防止を積極的に行ってもらい心強い。
MG保管時、衛生面での対応もお願いしたい。保護者も協力したい。

③生徒の意見

部活動中に自分だけでなく、他の部員の安全についても意識するようになった。
MGにより歯の怪我を防止できることがわかった。
MGをして活動した時、最初は違和感があったが少しずつ慣れてきた。

平成29・30年度 マウスガードによる安全教育の推進

埼玉県立川越工業高等学校野球部 スポーツ外傷防止教育普及委員会

1 外傷防止教育普及事業について

昨年度、学校および部活動にて顔面や口腔付近のけが、事故が数件発生している。このことから、安全指導およびマウスガードの着用を行うことにより、けがや事故の減少を目的として、安全教育（安全指導講習会、安全啓発DVDの視聴）およびマウスガードの作成、アンケート調査を実施した。

<アンケート実施時期>

- (1) 全般的な安全指導実施前
- (2) 歯科関係の安全及び野球での事故の現状についての指導終了後
- (3) フォーム式のマウスガードを装着し一定期間使用後
- (4) カスタム式マウスガード作成後
- (5) カスタム式マウスガード使用後



安全指導風景

市販型マウス
ガード作成風景



- (5) 第3回安全指導(10月5日) …本校野球部長
- (6) カスタム型マウスガード調整
(11月20日) …明海大学准教授 松本先生
- (7) 全体ミーティング(12月30日)

<練習時の取り組み事項>

- (1) マウスガードを使用して練習に参加、歯・口のけがに対する意識を高めた。
- (2) 集中的に守備練習を行う場合などにはフェイスガードを使用した。

<普及啓発>

- (1) 本校HPにて安全教育風景、取り組み等を掲載した。また、埼玉県高等学校野球連盟HPにて取り組みを掲載して頂いた。
- (2) 練習試合、公式戦等での各対戦校に取り組みをPRした。



安全ネット練習
風景

カスタム型マウス
ガード作成風景



2 取り組み内容(日程はH30年度の例)

- (1) 第1回安全指導(5月5日) …本校野球部長
- (2) 第2回安全指導及び市販型マウスガード作成
(7月23日) …明海大学学長 安井先生
- (3) カスタム型マウスガード作成(型取り)
(8月23日)
東京医科歯科大学准教授 上野先生
明海大学准教授 松本先生
- (4) カスタム型マウスガード作成(受け渡し)
(9月23日) (同上)

3 生徒の感想

- (1) マウスガードを使用することや安全教育によって、外傷防止に対する意識を強く持つことができた。
- (2) ティーバッティングの方法改善、マウスガード、フェイスガードを使用しての練習により、危険が少なく、より集中して練習することができたと思われる。
- (3) 練習の合間に一度休憩したり、捕食したりと、自分たちで安全に配慮して練習を行えるようになった。

マウスガードによる安全教育の推進

埼玉県立川越工業高等学校野球部

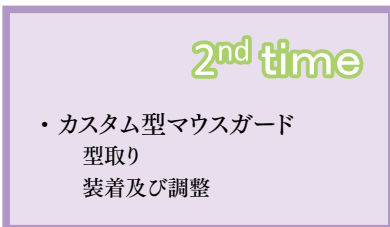


本校では、学校活動及び部活動にて顔面や口腔付近のけが、事故が数件発生しています。このことから、歯科保健活動の一環として安全指導およびマウスガードの着用を行うことにより、けがや事故の減少を目的とした活動を行っています。



1st time

- ・安全指導
- ・市販型マウスガード試作風景



2nd time

- ・カスタム型マウスガード型取り
装着及び調整



3rd time

- ・練習時けが防止対策
フェイスガード
安全ネット



練習風景



練習前にはけが防止を啓発し、マウスガードを装着して練習しています。



・生徒の声

マウスガードを使用することや安全教育によって、外傷防止に対する意識を強く持つことができました。

今後も定期的に自分たちでミーティングを行っていくつもりです。

・指導者の声

生徒たちは安全教育を行ったことで、けがに気を配り練習を行うことができています。

3. 調査結果

(1) 生徒の安全意識に関するアンケート調査結果(抄)

＜調査結果の概要＞アンケートによる意識項目等の経時的変化(第1回～第6回)

スポーツ事故に関する質問項目では、全体的に1回目と2回目の間の変化が大きく、上昇するだけではなく、減少する項目もみられる。質問項目によって上昇、下降の違いがみられたが、6回目の調査では上昇する共通した傾向がみられ、スポーツでの安全に関する意識は総じて高まったと言える。

なお、分散分析により回数による有意差がみられた項目は8項目中4項目であった。

スポーツ事故以外の質問項目では、全体的に肯定的回答が上昇する傾向がみられ、総じて安全意識が高まったと言える。ただし得点幅が狭いので、6回の調査間で有意差があったのは1項目のみであった。

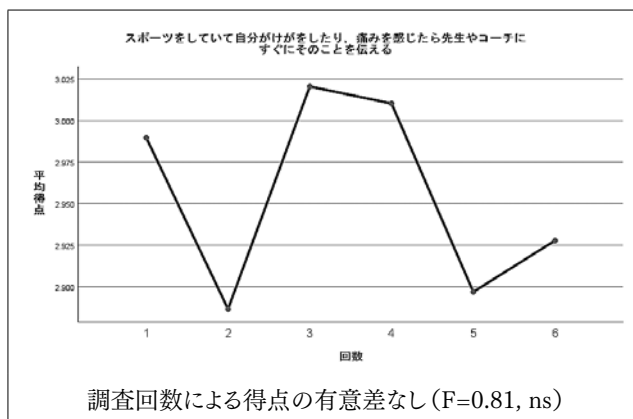
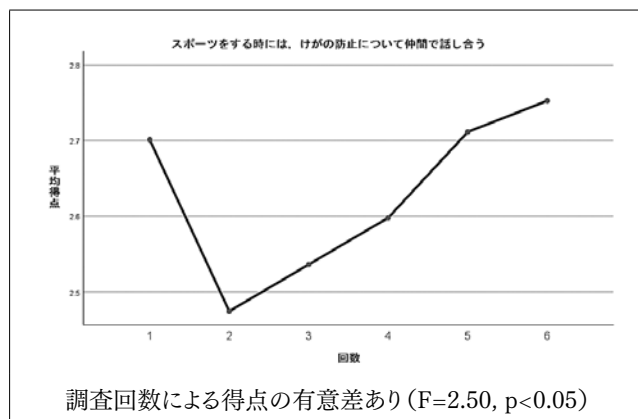
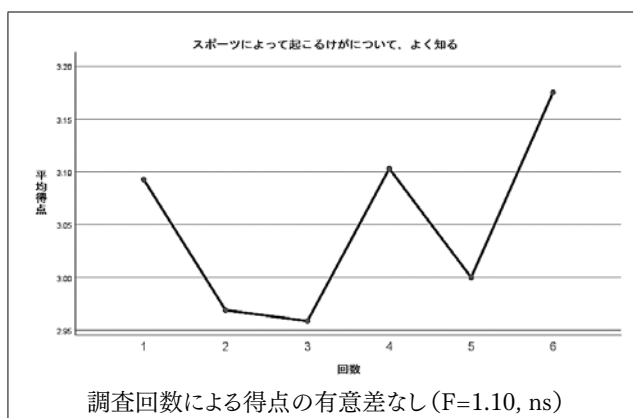
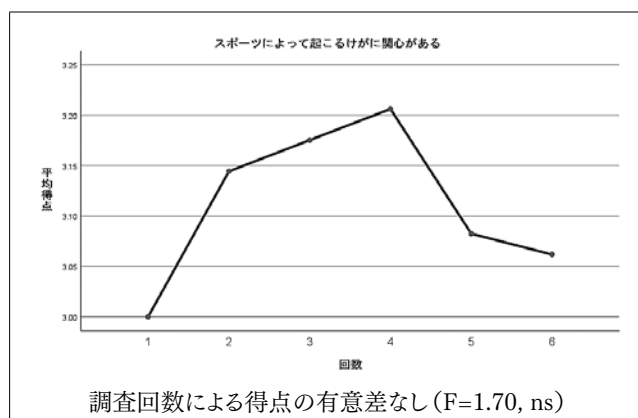
また、交通安全に関する行動などに関する質問項目では、全体的に共通した変化は見られなかったが、信号無視など交通法規を無視しないという割合が増加した。

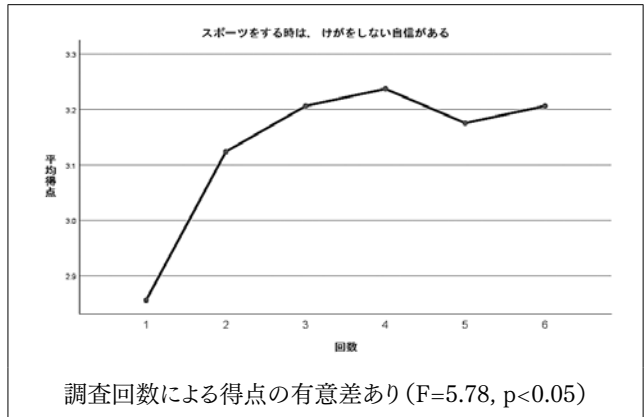
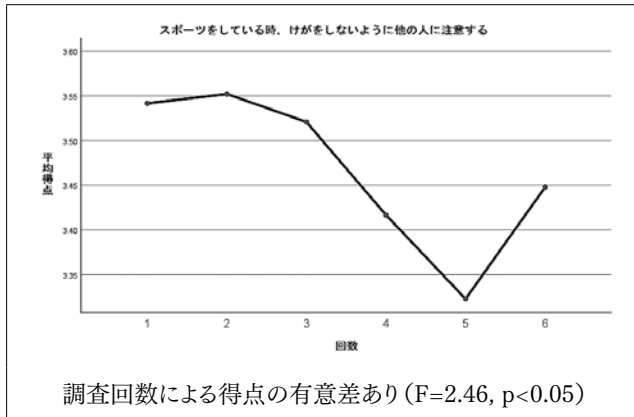
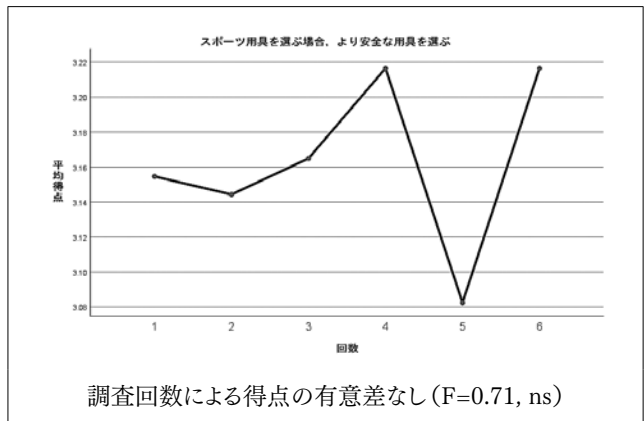
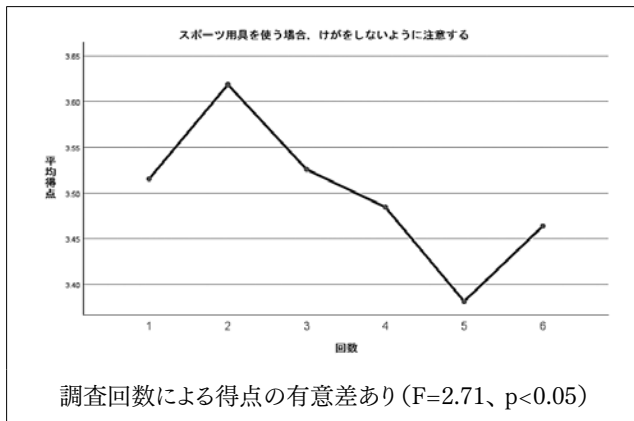
まとめると、スポーツ事故に関する質問項目よりも、スポーツ事故以外の一般的な安全に関する項目で肯定的な回答が増える傾向がみられた。しかしながら、この結果が、マウスガード使用など今回の取り組みによる影響のみであるかどうかは判断が困難である。対照群を設けて比較することが必要と思われる。

1 スポーツ事故に関する質問

対応のある反復測定分散分析によって、6回の測定間の得点差を分析した。

* 縦軸：平均得点(範囲1～4) 得点が高くなるほど肯定的回答となる 横軸：調査回数

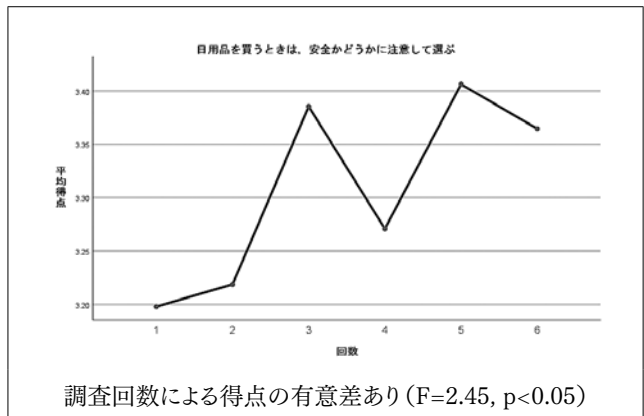
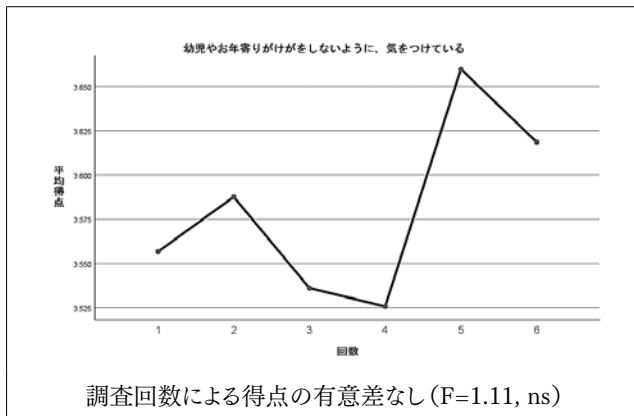
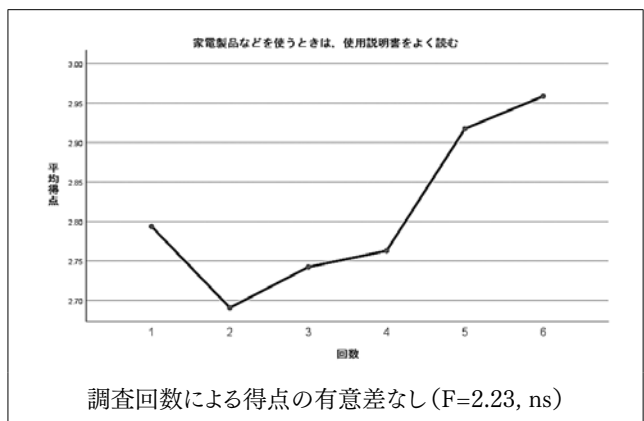
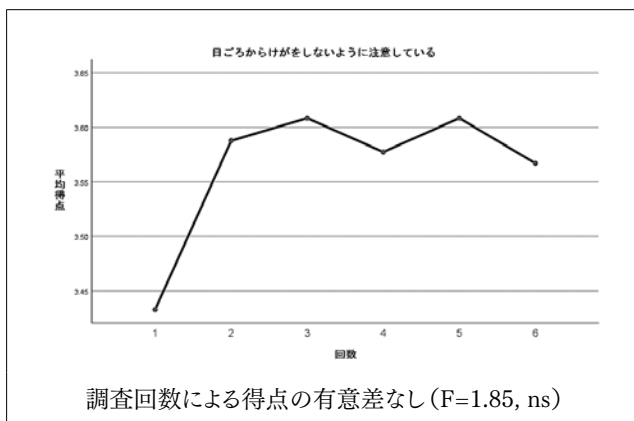


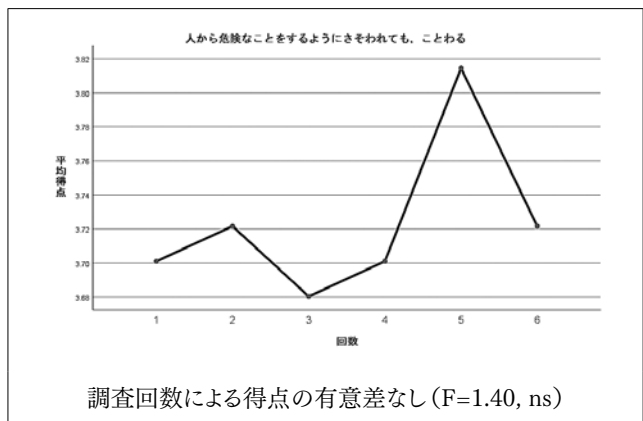
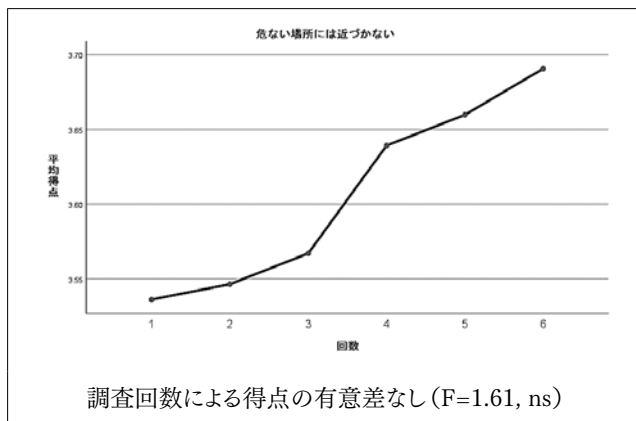


2 スポーツ事故以外の質問

対応のある反復測定分散分析によって、6回の測定間の得点差を分析した。

* 縦軸：平均得点（範囲1～4）得点が高くなるほど肯定的回答となる 横軸：調査回数





3 交通安全に関する行動などに関する質問

1回目と6回目の回答を比較した。なお回答は「いつも」「ときどきする」「しない」である。

- あなたは、自動車の助手席に乗るとき、シートベルトをつけますか。

「いつもつける」の回答の割合

1回目	6回目
70.1%	69.1%

McNemar 検定 ns

- あなたは、暗くなってから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。

「いつもつける」の回答の割合

1回目	6回目
90.7%	92.8%

McNemar 検定 ns

- あなたは、道路を歩いているときや自転車に乗っているとき、信号を無視して道路を横断するなど交通法規を無視することがありますか。

「しない」の回答の割合

1回目	5回目
54.6%	77.3%

χ^2 検定 $p < 0.01$ (セルが 2×3 だったため、McNemar 検定ではなく χ^2 検定を行った)

- 応急手当(胸骨圧迫)

「できる」の回答の割合

1回目	5回目
70.3%	63.4%

McNemar 検定 ns

(2) マウスガード使用に関するアンケート調査結果

<結果の概要>

埼玉県下高校2校の硬式野球部所属男子生徒を対象に、安全教育を実施した上で、市販の既製品とカスタムメイドの2種のマウスガードを順次提供し、着用態度、効果の理解度および使用上の不満について、アンケート調査を行った。その結果、既製品よりカスタムメイドのほうが着用態度は良好で、不満も少ない傾向であった。効果の理解度も良好で、マウスガードの種別や学校間で大差はなかった。カスタムメイドについては一定期間使用後、個別に調整を加えたところ、着用率がさらに向上した。

しかしながら、翌年フォローアップ時には着用率が低下する傾向を認めたので、着用の習慣化には本人の動機付けに加え、指導者の声掛けや保護者への働きかけが重要と思われる。また引退生徒のマウスガードを回収検査した結果、およそ1年の使用には耐えうると判定されたが、各人の使用頻度や咬合力、清掃保管状況等にも左右されるので、引き続き調査研究が必要である。

○市販既製品

特徴：選手自身の手で調整するタイプで、熱湯につけて軟らかくしたマウスガードを口腔内で成形する。

商品名：マウスピースMP (Boil&Bite、EVA、クリア、マーシャルワールド社 <https://www.mwjapan.jp/>)



市販既製品



生徒が実際成形した一例

○カスタムメイド

特徴：歯科で歯型と噛み合わせを取って個別製作するタイプで、専用シート材と成形機にて加熱成形する。

シート材：エルコフレックス (4mm厚EVA、クリア、独エルコデント社)

成形機：エルコフォーム3D + 対合歯圧痕付与器オクルフォーム (独エルコデント社)

構造：シングルレイヤー (単層式)

外形：唇頬小帯避け口腔前庭最深部5mm浅いライン、口蓋歯頸線に一致、後縁第一大白歯まで被覆

厚み：唇頬側面2~2.5mm厚、口蓋側面1~1.5mm厚

挙上量：安静空隙におよそ一致

咬合付与：全歯均等接触、咬合干渉除去



出張印象・咬合採得・石膏注入



出張装着



試適確認



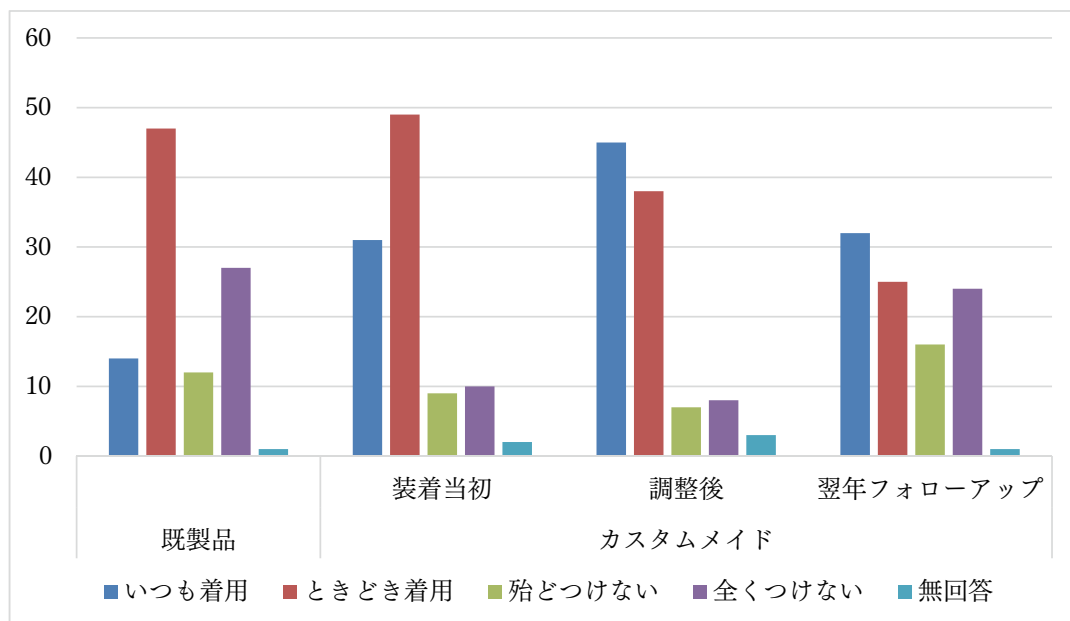
カスタムメイド(左：側方観、中央：正面観、右：咬合面観)

<結果の詳細>

○マウスガードの着用態度について

両校とも市販の既製品に比べ、カスタムメイドのほうが着用態度は良好であった。カスタムメイドについては装着から一定期間使用後、個別に調整修正を加えると、さらに着用率が高まった。しかし翌年のフォローアップ調査では着用率が低下していたので、着用の習慣化には本人の動機付けに加えて、顧問・指導者の声掛けや保護者への働きかけが重要と思われる。この点について、更なる調査研究が必要である。

高校	マウスガード		Q1. マウスガード着用についてマウスガード				
			いつも着用	ときどき着用	殆どつけない	全くつけない	無回答
川越工業高校 (45名)	既製品		7	26	6	6	0
	カスタムメイド	装着当初	11	23	4	7	0
		調整後	4	27	6	8	0
		翌年フォローアップ	6	8	9	21	1
	マウスガード		いつも着用	ときどき着用	殆どつけない	全くつけない	無回答
浦和学院高校 (56名→53名)	既製品		7	21	6	21	1
	カスタムメイド	装着当初	20	26	5	3	2
		調整後	41	11	1	0	0
		翌年フォローアップ	26	17	7	3	0
	マウスガード		いつも着用	ときどき着用	殆どつけない	全くつけない	無回答
計	既製品		14	47	12	27	1
	カスタムメイド	装着当初	31	49	9	10	2
		調整後	45	38	7	8	3
		翌年フォローアップ	32	25	16	24	1
	マウスガード		いつも着用	ときどき着用	殆どつけない	全くつけない	無回答



○効果の理解度について

効果の理解度については、既製品とカスタムメイドマウスガードで大差なく、また両校生徒ともに、マウスガードの主要な役割である「歯・口を守る」を始めとして、「安心感」、「体を守る」点を十分理解していた。また「打撃時に力を入れやすい」「力が入るから」といった副次的な効果を報告する生徒もいた。いずれにせよ、こうした理解については顧問ならびに指導者、また専門医から教授されたスポーツ外傷防止のための安全教育の実施効果と考えられる。今後は生徒のみならず、顧問・指導者ならびに保護者への教育普及にも取り組む必要があると思われる。

高校	マウスガード	Q2. マウスガードを使う理由について(複数回答可)						
		安心感	体を守る	歯・口を守る	脳を守る	顔・首を守る	相手ケガさせない	その他(具体的に)
川越工業高校 (45名)	既製品	14	19	17	2	4	1	打撃時にかむ力を入れやすい(1)。
	カスタムメイド	19	18	17	8	5	1	力が入るから(3)。 なんとなく危ないと思うから(1)。
高校	マウスガード	安心感	体を守る	歯・口を守る	脳を守る	顔・首を守る	相手ケガさせない	その他(具体的に)
浦和学院高校 (56名→53名)	既製品	13	12	18	2	7	0	力が入るから(2)。
	カスタムメイド	23	18	22	2	1	0	力が入るから(3)。 歯に力を入れるのを意識しているので(1)。
高校	マウスガード	安心感	体を守る	歯・口を守る	脳を守る	顔・首を守る	相手ケガさせない	その他(具体的に)
計	既製品	27	31	35	4	11	1	
	カスタムメイド	42	36	39	10	6	1	



スポーツ外傷防止安全教育



スライド教材

○使用上の不満について

カスタムメイドより、既製品のほうが「話しづらい」「違和感」「吐き気」「息苦しい」といった項目に、不満を持つ生徒が多かった。もちろんカスタムメイドであっても装着当初、不満を訴えるケースはある。とりわけ初めてマウスガードを使用する生徒にその傾向が強いようである。マウスガード着用慣れるまでには、ある程度の時間が必要なので、各人の不満ポイントや要望を聴取し、ポジション特性なども考慮し、個別調整を加える介入措置が有効である。実際、今回追加調整を行った後、不満事項は減少し、着用率も改善した。



使用状況・不満事項の確認



調整（発音障害に対し口蓋削合）

高校	マウスガード		Q3. マウスガードを使わなかった理由について（複数回答可）									
			話しづらい	つば溜まる	息苦しい	吐き気	顎疲労	緩い・外れる	違和感	変な臭い	変な味	その他（具体的に）
川越工業高校 （45名）	既製品		29	8	11	10	7	3	11	1	2	気持ち悪くなる（1）。
	カスタム メイド	装着当初	17	8	5	4	11	1	12	3	7	舌で触れたときに違和感がある（1）。 時々忘れてしまうことがある（1）。 面倒くさいから（1）。
		調整後	15	3	3	8	9	0	7	1	1	
	マウスガード		話しづらい	つば溜まる	息苦しい	吐き気	顎疲労	緩い・外れる	違和感	変な臭い	変な味	その他（具体的に）
浦和学院高校 （56名→53名）	既製品		22	4	4	9	4	9	16	1	2	マウスガードを知らなかった（4）。 必要性を感じなかった（1）。 つけようと思わなかった（1）。 きっかけがなかった（1）。 自然体のほうがよいと思った（1）。
	カスタム メイド	装着当初	15	12	5	10	5	1	9	0	0	声が出せない（1）。 体調不良で練習できていないから（1）。
		調整後	4	3	1	4	6	1	1	0	0	
	マウスガード		話しづらい	つば溜まる	息苦しい	吐き気	顎疲労	緩い・外れる	違和感	変な臭い	変な味	その他（具体的に）
計	既製品		51	12	15	19	11	12	27	2	4	
	カスタム メイド	装着当初	32	20	10	14	16	2	21	3	7	
		調整後	19	6	4	12	15	1	8	1	1	

○回収マウスガードの評価について

引退生徒20人分のカスタムメイド(8か月使用)を回収することができたので、学会認定資格を有する歯科医2名により評価を行った。その結果、変形4例、咬耗・穿孔・破断7例および材料劣化1例が確認された。総合判定として「問題なし」もしくは「少々問題あるが継続使用可能」が多数を占めたことから、およそ1年の使用には耐えうると考えられる。しかし各人の使用頻度や咬合力、清掃保管状況等にも左右されるので、更なる調査研究が必要である。

変形破損		材料劣化		適合維持		清掃保管状態		総合判定	
なし	9	なし	0	良好	17	良好	5	問題なし	6
あり	11	あり	1	一部不良	3	普通	9	少々問題あり(継続使用可能レベル)	10
				不良	0	不良	6	問題あり(要修理・再製レベル)	4



咬合面穿孔例(左:咬合面観、右:左側第一大臼歯の穿孔部)

(3) 保護者へのアンケート調査結果

<結果の概要>

マウスガードが野球の活動で安全確保に役立つとの回答(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)が約85%に上り、野球部の外傷防止の必要性和重要性はほぼ全員、有償となっても使用させたいは約65%が肯定している。しかしながら、専門家の話を聞き、マウスガードの有効性や取り組みの内容を理解したい、衛生面がどうなっているかと懸念する保護者もいる。今後の普及には、保護者も含めた外傷防止の意義やマウスガードの有効性、野球部の安全確保に関する教育への理解を深めることが必要と思われる。

- ・ 下記の10項目からなる質問紙を保護者に配布し、記入後に回収した。95人から回答が得られ、回答者は母親73人、父親22人であった。

Q1 あなたは、貴校野球部が研究指定校として外傷防止に取り組んでいることを知っていましたか。

	度数	%
知っていた	62	65.3
知らなかった	33	34.7
合計	95	100

Q2 あなたは、野球部で外傷防止に取り組むことは、必要だと思いますか。

	度数	%
そう思う	74	77.9
ややそう思う	21	22.1
合計	95	100

Q3 あなたは、野球部で外傷防止に取り組むことは、大切だと思いますか。

	度数	%
そう思う	73	76.8
ややそう思う	22	23.2
合計	95	100

Q4 あなたは、野球での外傷防止について、子供と話しあったりすることがありますか。

	度数	%
よくある	7	7.4
時々ある	19	20.0
たまにある	39	41.1
まったくない	30	31.6
合計	95	100

Q5 これまでの野球部の取り組みは、子供の安全確保に役立ったと思いますか。

	度数	%
そう思う	29	30.5
ややそう思う	51	53.7
ややそう思わない	1	1.1
そう思わない	2	2.1
わからない	12	12.6
合計	95	100

Q6 これまでの野球部での安全への取り組みは、子供の将来の生活で安全確保に役立つと思いますか。

	度数	%
そう思う	36	37.9
ややそう思う	40	42.1
ややそう思わない	5	5.3
そう思わない	1	1.1
わからない	13	13.7
合計	95	100

Q7 あなたは、マウスガードが野球での安全確保に役立つと思いますか。

	度数	%
そう思う	46	48.4
ややそう思う	40	42.1
ややそう思わない	3	3.2
そう思わない	2	2.1
わからない	4	4.2
合計	95	100

Q8 子供が今後も野球を続けるとしたら、有償でもマウスガードを使用させたいと思いますか。

	度数	%
そう思う	30	31.6
ややそう思う	32	33.7
ややそう思わない	10	10.5
そう思わない	4	4.2
わからない	19	20.0
合計	95	100

Q9 昨年から取り組んだ野球部でのスポーツの安全への取り組みやマウスガードの使用などについて、ご意見などがあったら、自由に書いて下さい。

<自由記述の内容>

- 研究校に指定されたことを有難く思います。高校野球ではデットボールは良くあり顔面へのデットボールも実際目の当たりしています。歯や眼球などこれから一生使っていかなければならない大切なものですので今回マウスガードを高校野球で調査して頂き、親としては感謝いたします。今後も調査、研究して頂き高校野球での怪我が少しでも減少していくことを願います。
- 先生からマウスガードの説明は聞いていましたが、歯科の先生から詳しい説明を聴ける機会があればよかったと思います。
- スポーツをするときの歯の食いしばりは特に奥歯などに負担がかかると聞きます。歯を守るため、力の入り方などにもマウスガードなど必要だと思っています。
- 取り組みについて理解できていなかったのも、内容をもっと知りたかった。
- 安全への取り組みは子供の将来を考えると大切なことだと思います。しかし、個人によっては使用感が嫌だという場合もあると思います。有償ならばあまり高価でなく清潔を保てる物をお願いしたいです。
- マウスガードの安全性がわからない。
- 衛生面が気になった。(計3件の発言有)
- 選手への配慮がありがたかった。
- 野球をする上で重要だと想った。
- 怪我を予防することは重要である。

4. 成果と課題

(1) 成果

日本高等学校野球連盟の温かいご支援、安井利一学長、松本勝先生（以上、明海大学）、上野俊明先生（東京医科歯科大学）及び両大学のメンバーの方々の御指導、研究指定校である浦和学院高等学校、埼玉県立川越工業高等学校の意欲的な取り組みにより、計画した内容はいずれも順調に実施され、以下のような成果が明らかになった。

- ① 研究指定校における取り組みによって、マウスガードの作成、使用の手順や方法等が徐々に明らかになりつつある。
 - ・カスタムタイプのマウスガードは、2年目に調整とチェックによって、不具合を訴える者が少なくなって、使い勝手が良くなった。装着からの期間、調整の時期も概ね適切だった。
 - ・僅かの例外はあるが、カスタムタイプのMGは、概ね1年間程度は使用に耐えることが分かった。
- ② 意識調査及びマウスガード使用に関する調査結果等から、生徒の安全意識やマウスガード使用への具体的な問題点などが明らかになった。
 - ・顧問、指導者の働きかけによって、着用の割合等が変わってきていることが分かり、指導者の声かけや指導を強調することが影響することが分かった。
カスタムタイプのマウスガードは、調整することによって、不具合を訴える者が少なくなって、使い勝手が良くなった。装着からの期間、調整の時期も概ね適切だった。
 - ・スポーツの安全に関する項目はあまり変化がみられなかったが、安全全般に関する意識は高くなっている。
 - ・生徒が、自他や練習環境の安全に気をつけるようになり、全般的にけがも減少している。

(2) 課題

この2か年間の取り組みにより、（野球部活動における）マウスガード使用のための手順や方法、生徒の理解や意識の向上等について一定の成果を上げたものの、実質1年半程度と確定的な成果を評価するには時期尚早であり、マウスガードの衛生管理の方法や生徒の意識の低下防止策、具体的な実施方法の改善に加え、全国の各地域学校等でどのように普及するか、それに学校歯科医がどう関わるかなど明らかにすべき重要な課題も浮かび上がってきている。

日本高等学校野球連盟等との連携により、ようやく普及のためのヒントがつかめてきたところであり、継続して委員会の活動を展開し、明らかになった課題を解決する必要があることで委員間の意見が一致している。

具体的な課題としては、以下の8点を挙げる。

- ① マウスガードの衛生管理の方法や生徒の安全意識向上と使用継続のための教育をどのように行っていくか、継続して実践的な検討が必要である。
- ② これまでの取り組みを踏まえて、スポーツ部活動などの集団でのマウスガード作成・使用の具体的な実施方法の一層の改善が必要である。
- ③ 全国の各地域・学校等でどのように普及するか、問題点の洗い出しやシステムの構築策などを多面的に検討する必要がある。
- ④ マウスガードの普及を含めたスポーツ外傷防止に、学校歯科医がどのように関わるか。外傷防止の意義やマウスガードの有効性、教育の必要性を啓発するための資料の作成も含めて検討が必要である。
- ⑤ 生徒の意識の変化だけではなく、けがの発生状況などとも照らして、その成果を分析・考察する必要がある。
- ⑥ 耐久度調査も進めているが、実質1年半程度と短期の取り組みのため、中・長期的な評価が必要である。
- ⑦ 保護者の理解や関心を高める取り組みが十分でなく、保護者に対する野球の安全やマウスガードの必要性に関する教育の機会設定が必要である。
- ⑧ 日本高等学校野球連盟と連携し、全国的なマウスガードの利用状況の調査などを行い、実態を明らかにするとともに、野球での安全、マウスガードの有効性や使用の意義などを広く啓発する必要がある。

あ と が き

中央教育審議会答申(平成20年1月17日付)で打ち出された、「子供の心身の健康を守り、安全・安心を確保するために学校全体としての取り組みを進めるための方策について」の中で、「学校において、その生涯にわたり、自らの健康をはぐくみ、安全を確保することのできる基礎的な素養を育成していくことが求められる」との指針が示されている。高等学校段階では、スポーツによる「歯・口の外傷」の件数が多くなっており、生涯にわたる安全確保の視点から、安全学習・安全指導の推進が大切になってくる。

そこで学校歯科医は、「チーム学校」の一員として、学校保健委員会活動の中で、運動部活動の顧問と連携して、それぞれの競技の特性に応じたマウスガードの普及を図る必要がある。日本スポーツ振興センターが、学校管理下での災害給付の実態を見ると、高校野球活動中の眼と歯・口の外傷は、他の競技と比べても突出している。マウスガードが、打者用ヘルメットや投手用ヘッドギアなどの先行防具用品と共に、日常的に活用されるように啓発を図る必要がある。日本高等学校野球連盟では、日本学生野球憲章第2条7項で、「学生野球は、部員の健康を維持・増進させる施策を奨励・支援し、スポーツ障害予防への取り組みを推進する」と定められており、投手の関節機能検査など、さまざまなスポーツ障害予防対策を講じてきた。

こうした実態を踏まえ、本委員会が、埼玉県下の浦和学院高等学校と県立川越工業高等学校の協力を得て、スポーツ外傷予防対策としてマウスガードの普及事業に踏み出すことができた意義は大きい。

本委員会では、マウスガードの普及を契機に幅広く安全教育に資するスポーツ外傷の予防活動に取り組むこととなった。その主なポイントとして次の3点を挙げた。

- ① 学校のスポーツ活動における安全意識と行動等の変化に関する調査
- ② 学校のスポーツ活動における外傷予防のための教育と安全な環境づくり
- ③ マウスガードの装着体験を通じた歯・口の外傷防止方法の理解と実践及び普及啓発

研究指定校野球部員たちには、まず安全教育の講義から始められ、歯・口の外傷防止だけでなく、日常の行動についても、安全を意識した行動をとるよう指導がなされたことは、先の中教審答申に沿った取り組みであることに注目したい。

研究指定校野球部員で、今まで装着経験のない部員の中には、話しづらい、つばが溜まるなどの違和感を持つ不満があった。当初の市販品の装着では十分な定着が得られなかった。市販品に続いて歯科専門医によるカスタムタイプの装着・調整の結果、市販品に比べ、持続した使用に繋がる結果が得られた。マウスガードの先行義務化がなされているボクシングやラグビーと野球では、競技の特性が異なるため、プレー中のコミュニケーションにできるだけ支障のないよう、専門医の数回にわたる調整で、違和感なく使用する部員が増えた。冬季トレーニングでは、メニューによって外傷の恐れが少ないランニングやウエイトトレーニングでは必ずしも使用していない場面も見受けられた。しかし、特に負傷が多い打撃投手や、守備練習の際に指導者がマウスガードの着用を促すなどで、徐々に使用が定着するのではないかと考えられる。この場合、練習や試合中のマウスガードの衛生的な保管方法も指導しておくことが大切だ。またスポーツドリンクの飲水時にはそのままマウスガードを装着するのではなく、糖分の影響を避けるため、一旦うがいをしてから使用する習慣も指導してほしい。

さらに歯・口の外傷の応急措置も理解しておく必要がある。歯の破折が生じた場合に備え、その取り扱い方法を理解させ、市販の歯の保存液は是非常備するよう周知を図りたい。

また今回の研究指定校の保護者にもアンケートを実施した。マウスガードが野球の活動で安全確保に役立つとの回答が85%ある一方、有償となると48%が肯定しているが、費用を懸念する保護者もいる。今後の普及には、保護者も含めた外傷防止や安全教育への理解が必要と思われる。費用面と耐用期間の説明もしておきたい。学校歯科医は、マウスガードの普及を図る上で、マウスガードの調整ができる地域の「かかりつけ歯科医」とのネットワークづくりが必要になる。生徒らが装着後も、その後の点検や微調整の相談に応じてくれる体制づくりが、一層の普及に結びつくことは言うまでもない。

生徒一人ひとりが、自らの安全を守り、かつ相手のけが予防にも気遣う気持ちを持つことが、フェアプレーの精神にも繋がる。

終わりに、本事業に関わられたスポーツ歯科専門医の皆さんと、研究指定校となって協力いただいた浦和学院高校と川越工業高校野球部の指導者、部員の皆さんに心から感謝したい。

スポーツ外傷防止教育普及委員会 副委員長 田名部 和裕
(公益財団法人日本高等学校野球連盟・理事)

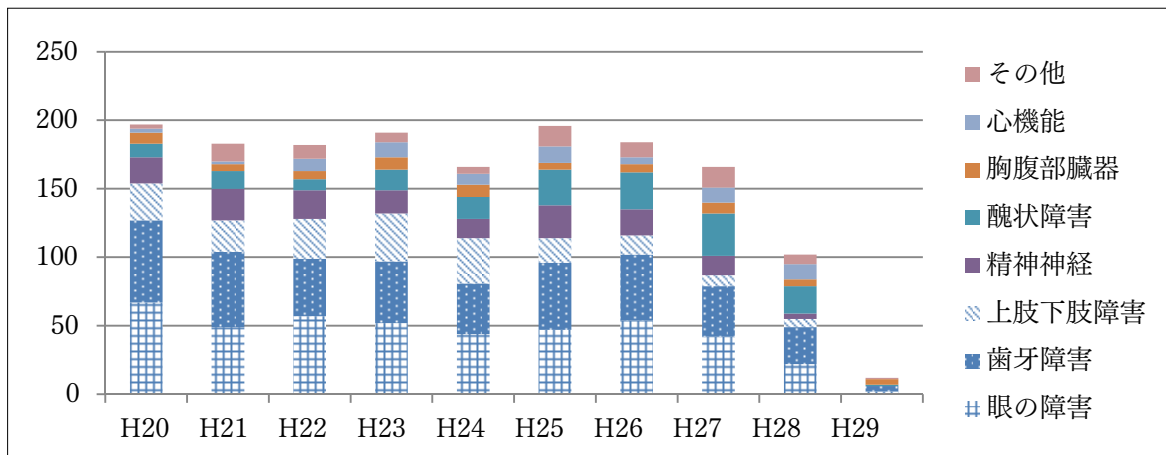
付 録 1

学校管理下における災害共済給付資料(障害見舞金)

～平成29年度速報値、日本スポーツ振興センター～

学校の管理下で10年間(平成20年度～平成29年度)に発生した体育活動中(体育の授業、運動部活動、体育的行事等)における事故で、災害共済給付の障害見舞金(第1級～第14級)を給付した事例1579例を分析した。

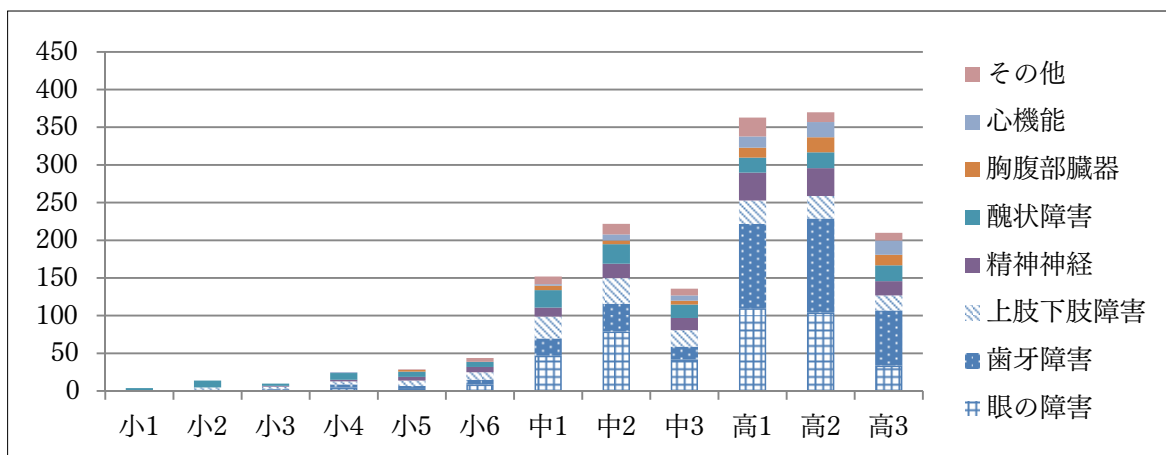
(1) 障害別・年度別推移



	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	合 計
眼の障害	67	49	57	52	44	47	54	42	22	2	436
歯牙障害	60	55	42	45	37	49	48	37	27	4	404
上肢下肢障害	27	23	29	35	33	18	14	8	6	0	193
精神神経	19	23	21	17	14	24	19	14	4	0	155
醜状障害	10	13	8	15	16	26	27	31	20	1	167
胸腹部臓器	8	5	6	9	9	5	6	8	5	4	65
心機能	3	2	9	11	8	12	5	11	11	0	72
その他	3	13	10	7	5	15	11	15	7	1	87
合 計	197	183	182	191	166	196	184	166	102	12	1,579

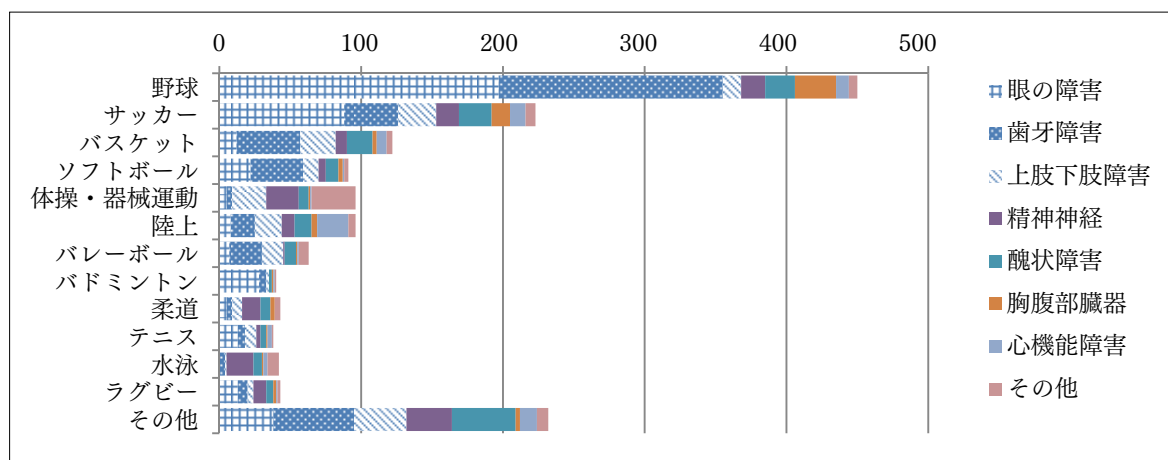
※「その他」は「手足機能障害」「聴力障害」等

(2) 障害別・学年別



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合 計
眼の障害	0	0	2	5	4	9	47	79	42	110	104	34	436
歯牙障害	1	2	1	4	3	6	23	37	17	112	125	73	404
上肢下肢障害	0	3	3	4	7	10	29	34	22	31	30	20	193
精神神経	0	0	1	2	5	7	12	19	16	37	37	19	155
醜状障害	3	9	3	9	7	7	23	26	18	20	21	21	167
胸腹部臓器	0	0	0	0	2	0	6	5	5	13	20	14	65
心機能	0	0	0	1	0	0	2	8	7	15	20	19	72
その他	0	0	0	0	1	5	10	14	9	25	13	10	87
合 計	4	14	10	25	29	44	152	222	136	363	370	210	1,579

(3) 競技別・障害別



	眼の障害	歯牙障害	上肢下肢障害	精神神経	醜状障害	胸腹部臓器	心機能障害	その他	合 計
野球	197	158	13	17	21	29	9	6	450
サッカー	88	38	27	16	23	13	11	7	223
バスケット	12	45	25	8	18	3	7	4	122
ソフトボール	22	37	11	5	9	3	1	3	91
器械体操等	5	4	24	23	7	1	1	31	96
陸上	8	17	19	9	12	4	22	5	96
バレーボール	7	23	15	1	8	1	1	7	63
バドミントン	28	5	2	0	2	1	1	1	40
柔道	5	4	7	13	7	3	0	4	43
テニス	13	5	8	3	4	1	3	1	38
水泳	0	4	1	19	6	1	3	8	42
ラグビー	13	7	4	9	5	2	1	2	43
その他	38	57	37	32	45	3	12	8	232
合 計	436	404	193	155	167	65	72	87	1,579

(4) 障害別・原因別

	ボール等当たる	他者と接触	転倒・落下	バット等当たる	施設・設備と接触	走る・跳ぶ等	投げられ・打たれる等	回転に失敗	プール飛び込み	自分の膝等が接触	泳ぐ	その他	合 計
眼の障害	335	54	7	15	7	0	6	3	0	3	0	6	436
歯牙障害	139	89	56	70	29	9	5	1	1	3	0	2	404
上肢下肢障害	39	22	71	2	29	17	5	3	0	0	0	5	193
精神神経	18	32	27	2	5	18	18	9	18	0	1	7	155
醜状障害	15	45	33	19	32	6	4	4	0	0	2	7	167
胸腹部臓器	32	17	4	1	2	4	3	0	0	0	1	1	65
心機能	2	0	0	0	0	62	1	0	0	0	3	4	72
その他	16	9	29	0	0	2	4	17	7	0	0	3	87
合 計	596	268	227	109	104	118	46	37	26	6	7	35	1,579

(5) 競技別・原因別

	ボール等当たる	他者と接触	転倒・落下	バット等当たる	施設・設備と接触	走る・跳ぶ等	投げられ・打たれる等	回転に失敗	プール飛び込み	自分の膝等が接触	泳ぐ	その他	合 計
野球	358	21	9	31	15	13	0	0	0	0	0	3	450
サッカー	101	65	30	0	12	13	0	0	0	1	0	1	223
バスケット	15	66	14	0	14	8	1	0	0	0	0	4	122
ソフトボール	43	7	1	36	1	3	0	0	0	0	0	0	91
器械体操等	0	6	43	0	4	6	0	33	0	2	0	2	96
陸上	8	5	26	1	10	39	0	0	0	2	0	5	96
バレーボール	12	9	13	2	17	7	0	0	0	0	0	3	63
バドミントン	25	0	4	7	2	2	0	0	0	0	0	0	40
柔道	0	4	3	0	1	0	35	0	0	0	0	0	43
テニス	6	2	9	6	9	5	0	0	0	0	0	1	38
水泳	0	1	5	0	1	1	0	0	26	0	7	1	42
ラグビー	2	36	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	43
その他	26	46	69	25	17	20	10	4	0	1	0	14	232
合 計	596	268	227	109	104	118	46	37	26	6	7	35	1,579

(6) 運動部活動 競技別・障害別(体育活動1,579例のうち中高運動部活動の1,091例)

※発生件数の多い順に15部活動を抜粋

			眼の 障害	歯牙 障害	上肢 下肢 障害	精神 神経	醜状 障害	胸腹部 臓器	心機能	その他	総計	対10万人 当たりの発 生順位
1	野球	件数	194	158	12	17	19	29	9	6	444	3
	約422万人	対10万人	4.6	3.7	0.3	0.4	0.5	0.7	0.7	0.1	10.5	
2	サッカー	件数	59	29	21	13	14	13	5	6	160	7
	約404万人	対10万人	1.5	0.7	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	0.1	4.0	
3	バスケットボール	件数	9	36	17	3	12	3	3	2	85	10
	約473万人	対10万人	0.2	0.8	0.4	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	1.8	
4	バレーボール	件数	4	19	12	1	8	1	1	6	52	11
	約315万人	対10万人	0.1	0.6	0.4	0.0	0.3	0.0	0.0	0.2	1.6	
5	ラグビー	件数	13	6	4	9	5	2	1	2	42	2
	約31万人	対10万人	4.1	1.9	1.3	2.8	1.6	0.6	0.6	0.6	13.3	
6	テニス	件数	13	4	8	3	4	1	3	1	37	14
	約573万人	対10万人	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.6	
7	ソフトボール	件数	13	8	7	3	2	0	0	2	35	6
	約81万人	対10万人	1.6	1.0	0.9	0.4	0.2	0.0	0.0	0.2	4.3	
8	陸上	件数	3	8	6	5	5	2	4	1	34	12
	約322万人	対10万人	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.0	1.1	
9	柔道	件数	3	3	5	11	4	2	0	4	32	5
	約61万人	対10万人	0.5	0.5	0.8	1.8	0.6	0.3	0.3	0.6	5.2	
10	バドミントン	件数	19	3	1	0	2	1	0	1	27	12
	約234万人	対10万人	0.8	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	1.1	
11	ハンドボール	件数	5	4	3	2	2	1	1	0	18	8
	約74万人	対10万人	0.7	0.5	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	0.0	2.4	
12	水泳	件数	0	2	1	11	2	0	0	2	18	9
	約80万人	対10万人	0.0	0.2	0.1	1.4	0.2	0.0	0.0	0.2	2.2	
13	体操	件数	1	2	2	6	1	0	0	5	17	4
	約19万人	対10万人	0.5	1.0	1.0	3.1	0.5	0.0	0.0	2.6	8.9	
14	ホッケー	件数	0	12	0	0	2	0	0	0	14	1
	約6万人	対10万人	0.0	19.5	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	22.7	
15	卓球	件数	3	0	2	1	3	1	0	0	10	15
	約310万人	対10万人	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	

*対10万人＝H20～H29の各障害件数÷H20～H29の各競技の部員数×10万

付 録 2

歯・口の外傷防止に関する教育、相談等の協力可能な団体・歯科医師名簿

【一般社団法人日本学校歯科医会 加盟団体】

団 体 名	〒	所 在 地	T E L F A X
(一社)北海道歯科医師会	060-0031	札幌市中央区北1条東9-11	011-231-0945 011-271-7514
(一社)札幌歯科医師会	064-0807	札幌市中央区南7条西10-1034	011-511-1543 011-511-1530
(一社)青森県歯科医師会	030-0811	青森市青柳1-3-11	017-777-4870 017-722-4603
(一社)岩手県歯科医師会	020-0045	盛岡市盛岡駅西通2-5-25	019-621-8020 019-654-5474
(一社)秋田県歯科医師会	010-0941	秋田市川尻町字大川反170-102	018-865-8020 018-862-9122
(一社)宮城県歯科医師会	980-0803	仙台市青葉区国分町1-5-1	022-222-5960 022-225-4843
(一社)山形県歯科医師会	990-0031	山形市十日町2-4-35	023-632-8020 023-631-7477
(公社)福島県歯科医師会	960-8105	福島市仲間町6-6	024-523-3266 024-524-1323
(公社)茨城県歯科医師会	310-0911	水戸市見和2-292-1	029-252-2561 029-253-1075
(一社)栃木県歯科医師会	320-0047	宇都宮市一の沢2-2-5	028-648-0471 028-648-8149
(公社)群馬県歯科医師会	371-0847	前橋市大友町1-5-17	027-252-0391 027-253-6407
(一社)千葉県歯科医師会	261-0002	千葉市美浜区新港32-17	043-241-6471 043-248-2977
(一社)埼玉県歯科医師会	330-0075	さいたま市浦和区針ヶ谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ5F	048-829-2323 048-829-2376
(一社)東京都学校歯科医会	102-0073	千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館2F	03-3261-1675 03-3222-6528
(一社)神奈川県歯科医師会	231-0013	横浜市中区住吉町6-68	045-681-2172 045-681-2426
(公社)川崎市歯科医師会	210-0006	川崎市川崎区砂子2-10-10	044-233-4494 044-222-3924
(一社)山梨県歯科医師会	400-0015	甲府市大手1-4-1	055-252-6481 055-253-0854
(一社)長野県歯科医師会	380-8583	長野市稲葉2141	026-222-8020 026-222-3060
(一社)新潟県歯科医師会	950-0982	新潟市中央区堀之内南3-8-13	025-283-3030 025-283-6692
(一社)静岡県歯科医師会	422-8006	静岡市駿河区曲金3-3-10	054-283-2591 054-283-3590

(一社)愛知県歯科医師会	460-0002	名古屋市中区丸の内3-5-18	052-962-8020 052-951-5108
名古屋市学校歯科医会	460-8508	名古屋市中区三の丸3-1-1 名古屋市教育委員会学校保健課内	052-972-3246 052-972-4177
(公社)岐阜県歯科医師会	500-8486	岐阜市加納城南通1-18	058-274-6116 058-276-1722
(公社)三重県歯科医師会	514-0003	津市桜橋2-120-2	059-227-6488 059-227-0510
(一社)石川県歯科医師会	920-0806	金沢市神宮寺3-20-5	076-251-1010 076-251-6450
(一社)福井県歯科医師会	910-0001	福井市大願寺3-4-1	0776-21-5511 0776-27-5640
(一社)富山県歯科医師会	930-0887	富山市五福字五味原2741-2	076-432-4466 076-442-4013
(一社)滋賀県歯科医師会	520-0044	大津市京町4-3-28	077-523-2787 077-523-2788
和歌山県学校歯科医会	640-8287	和歌山市築港1-4-7 和歌山県歯科医師会館内	073-428-3411 073-431-2660
(一社)奈良県歯科医師会	630-8002	奈良市二条町2-9-2	0742-33-0861 0742-34-1279
(一社)京都府歯科医師会 京都健康スポーツ歯科医WG	604-8418	京都市中京区西ノ京東柊尾町1	075-812-8492 075-812-8814
(一社)大阪府学校歯科医会	543-0033	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-9-2 辻本興産ビル4階 分室	06-6772-5277 06-6772-5252
(一社)大阪市学校歯科医会	543-0033	大阪市天王寺区堂ヶ芝1-3-27 府歯科医師会館内	06-6772-8362 06-6774-0488
(一社)兵庫県歯科医師会	650-0003	神戸市中央区山本通5-7-18	078-351-4183 078-351-4333
(公社)神戸市歯科医師会	650-0021	神戸市中央区三宮町2-11-1-514号 センタープラザ西館5階	078-391-8020 078-391-6480
(一社)岡山県歯科医師会	700-0813	岡山市北区石関町1-5	086-224-1255 086-224-8561
(一社)鳥取県歯科医師会	680-0841	鳥取市吉方温泉3-751-5	0857-23-2621 0857-23-5584
(一社)広島県歯科医師会	732-0057	広島市東区二葉の里3-2-4	082-263-8020 082-263-5525
(一社)島根県歯科医師会	690-0884	松江市南田町141-9	0852-24-2725 0852-31-0198
(公社)山口県歯科医師会	753-0814	山口市吉敷下東1-4-1	083-928-8020 083-928-8025
(一社)徳島県歯科医師会	770-0003	徳島市北田宮1-8-65	088-631-3977 088-631-4179
(公社)香川県歯科医師会	760-0020	高松市錦町2-8-38	087-851-4965 087-822-4948
(一社)愛媛県歯科医師会	790-0014	松山市柳井町2-6-2	089-933-4371 089-932-5048

(一社)高知県歯科医師会	780-0850	高知市丸ノ内1-7-45 総合あんしんセンター2F	088-824-3400 088-872-8011
(一社)福岡県学校歯科医会	810-0041	福岡市中央区大名1-12-43	092-714-4627 092-714-7599
佐賀県学校歯科医会	840-0045	佐賀市西田代2-5-24	0952-25-2291 0952-22-7586
(一社)大分県歯科医師会	870-0819	大分市王子新町6-1	097-545-3151 097-545-3155
(一社)熊本県歯科医師会	860-0863	熊本市中央区坪井2-4-15	096-343-8020 096-343-0623
(一社)宮崎県歯科医師会	880-0021	宮崎市清水1-12-2	0985-29-0055 0985-22-6551
(公社)鹿児島県歯科医師会	892-0841	鹿児島市照国町13-15	099-226-5291 099-223-6079
(一社)沖縄県歯科医師会	901-1105	島尻郡南風原町字新川218-1	098-996-3561 098-996-3562

【一般社団法人日本スポーツ歯科医学会会員】

以下の要領で検索ください。

URL <http://kokuhoken.net/jasd/>

一般社団法人日本スポーツ歯科医学会 ⇒ 認定制度 ⇒ 認定医・施設リスト

一般社団法人 日本学校歯科医会 平成30年度版
(独立行政法人日本スポーツ振興センター平成16年度版一部改変)

安全に関する意識調査 (第1回)

この調査は、皆さんが安全や危険についてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

No	年 氏 名	【記入日】 平成 年 月 日	性 別
			(1 男 2 女)

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

質問1 あなたは運動部に入っていますか。あてはまるほうの番号に○をつけてください。また、入っている場合は、() の中に種目名を書いてください。

1. 運動部に入っていない

2. 運動部に入っている → 種目名 ()

質問2 あなたが中学校に入学してから現在までの間に、けがをして病院や診療所で治療を受けたことがありますか。あてはまるほうの番号に○をつけてください。ある場合には、その受傷回数を () 内に書いてください。

1. ない

2. ある → 受傷 () 回

質問3 質問2で「2. ある」と答えた方に質問します。けがのA「発生場所」、B「活動内容」、C「けがの部位」、D「けがの種類」について、表下にある各選択肢から当てはまる番号を選んで、表中に記入してください。

A 発生場所	B 活動内容	C けがの部位	D けがの種類

A 発生場所

1. 学校内 (体育館等の屋内) 2. 学校内 (運動場等の屋外) 3. 学校周辺 (道路等)

4. 学校外の施設等 5. 通学路等 6. 自宅及び自宅周辺 (公園等)

7. その他の場所

B 活動内容

1. 保健体育の授業 2. その他の授業 3. 野球部活動 4. 野球部以外の運動部活動

5. 体育的な学校行事 (運動会・体育祭・クラスマッチ等) 6. 文化的な学校行事

7. 休憩時間・放課後 8. その他

C けがの部位

1. 前額部 2. 眼部 3. 頬部 4. 耳部 5. 鼻部 6. 口部 7. 歯部
8. 頸部 9. (1～8以外の頭部 10. 体幹部 (頸部・肩部・胸部・腹部・背部・臀部・臀部・臀部を含む。)) 11. 上肢部 (腕・手) 12. 下肢部 (脚・足)

D けがの種類

1. 骨折 2. 捻挫 3. 脱臼 4. 挫傷・打撲 5. 挫創
6. 切り傷 (切創・割創・裂創) 7. 擦過傷 8. 熱傷・火傷 9. 歯牙破折 10. その他
- 質問4 歯の防具「マウスガード (マウスピース)」を使用したことがありますか。あてはまる番号に○をつけてください。また、使用したことがある場合、その種類を選んで○を付けてください。
1. マウスガードがどんなものか知らない
2. マウスガードを使用したことがない
3. マウスガードを使用したことがある → 種類 (市販既製品・カスタムメイド)

質問5 質問4で「使用したことがある」と答えた方に質問します。あなたは、マウスガードをどのような状況で使いましたか。あてはまる番号すべてに、○をつけてください。

1. 部活動の試合で 2. 部活動の練習で 3. 体育の授業で

4. その他 ()

質問6 次のそれぞれ文について、「1. そう思う」～「4. そう思わない」の中から、あなたの意見にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

- Q1 あなたがけがをした場合、その原因は自分とった行動にあると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q2 あなたがけがをする時は、注意しても避けられないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q3 あなたは、自分の工夫や努力によってけがを防げていると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q4 あなたがけがをした場合、それは自分自身よりも環境のせいだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q5 あなたは、運が悪いかいけがをすると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q6 あなたは、自分ならば大きなけがをするとは思いませんか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q7 あなたは、けがをする危険があっても、スリルのあるスポーツをしたいと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q8 あなたは、自分が他人をけがさせることはないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q9 あなたは、スポーツでけがをするのはあたりまえだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q10 あなたは、自分がいっつも安全に行動していると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

質問7 次のQ1～Q6について、あなた自身にとって重要であるかどうか、「1. 重要だ」～「4. 重要ではない」の中からひとつえらんで、番号に○をつけてください。

- Q1 勉強でよい成績をとること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

Q 5 危ない場所には近づかない。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q 6 人から危険なことをするようにせわれても、ことわる。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 10 次のそれぞれの質問に対して、あてはまる番号に○をつけてください。

Q1 あなたは、自動車に同乗するとき、シートベルトをつけますか。

1. いつもつける 2. とときどきつける 3. つけない

Q2 あなたは、暗くなつてから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。

1. いつもつける 2. とときどきつける 3. つけない 4. 自転車には乗らない

Q3 あなたは、自転車の二人乗りをしますか。

1. しない 2. とときどきする 3. よくする 4. 自転車には乗らない

Q4 あなたは、道路を疾いでいるときや自転車で乗っているとき、信号を無視して道路を横断する

など交通法規を無視することがありますか。

1. ない 2. とときどきある 3. よくある

Q5 あなたは次の応急手当の中で、自分ができる方法がありますか。それぞれ、あてはまる番号に

○をつけてください。

ア. 人工呼吸 1. できる 2. できない 3. 知らない

イ. 胸骨圧迫（心臓マッサージ） 1. できる 2. できない 3. 知らない

ウ. AEDの使用法 1. できる 2. できない 3. 知らない

エ. 止血法 1. できる 2. できない 3. 知らない

オ. 骨折の固定 1. できる 2. できない 3. 知らない

カ. 熱中症の対処 1. できる 2. できない 3. 知らない

* 「2. できない」=習ったことはあるができないとき

* 「3. 知らない」=習ったこともなく知らないとき

質問 11 あなたが、ふだんの生活の中で、けがや安全のことで気になることがありましたら、下に

書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

以上。

一般社団法人 日本学校歯科医会

スポーツ外傷防止教育普及委員会

4

Q 2 スポーツでよい成績をとること

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

Q 3 自分のとった行動に責任をもつこと

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

Q 4 学校の規則を守ること

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

Q 5 社会の規則を守ること

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

Q 6 健康で安全な生活をおくること

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

質問 8 以下の質問は、部活動などスポーツについての質問です。それぞれの文について、

「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を

1つ選んで、番号に○をつけてください。

Q1 私は、スポーツによって起こるけがに関心がある。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q2 私は、スポーツによって起こるけがについて、よく知りたいと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q3 私は、スポーツをする時には、けがの防止について仲間と話し合いたいと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q4 私は、スポーツをしていて自分がけがをしたり、痛みを感じたら先生やコーチに

すぐにそのことを伝えようと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q5 私は、スポーツ用具を使う場合、けがをしないように注意して使おうと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q6 私は、スポーツ用具を選ぶ場合、より安全な用具を選びたい。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q7 私は、スポーツをしている時、けがをしないように他の人に注意しようと思う。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q8 私は、スポーツをする時は、けがをしない自信がある。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 9 以下の質問は、スポーツ以外の日常生活についての質問です。それぞれの文について、

「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を

1つ選んで、番号に○をつけてください。

Q1 日ごろからけがをしないように注意している。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q2 家電製品などを使うときは、使用説明書をよく読む。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q3 幼児やお年寄りけがをしないように、気を付けている。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

Q 4 日用品を買うときは、安全かどうかに注意して選ぶ。

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

3

1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 2 スポーツでよい成績をとること 4. 重要ではない
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 3 自分のとった行動に責任をもつこと 4. 重要ではない
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 4 学校の規則を守ること 4. 重要ではない
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 5 社会の規則を守ること 4. 重要ではない
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 6 健康で安全な生活をおくること 4. 重要ではない
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

質問 3 以下の質問は、部活動などスポーツについての質問です。それぞれの文について、
「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ
選んで、番号に○をつけてください。

- Q 1 スポーツによって起こるけがに関心がある。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 2 スポーツによって起こるけがについて、自分で調べたことがある。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 3 スポーツをする時には、けがの防止について仲間で話し合うことがある。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 4 スポーツをしていて自分がけがをしたり、痛みを感じたら先生やコーチに
すぐのことを伝える。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 5 スポーツ用具を使う場合、けがをしないように注意して使う。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 6 スポーツ用具を選ぶ場合、より安全な用具を選ぶようにしている。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 7 スポーツをしている時、けがをしないように他の人に注意することがある。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 8 スポーツをしている時、自信を持って安全に行動している。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 4 以下の質問は、スポーツ以外の日常生活についての質問です。それぞれの文について、
「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ
選んで、番号に○をつけてください。

- Q 1 日ごろからけがをしないように注意している。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 2 家電製品などを使うときは、使用説明書をよく読む。 4. あてはまらない
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 3 幼児やお年寄りがけがをしないように、気をつけている。 4. あてはまらない

安全に関する意識調査 (第2～5回)

この調査は、皆さんが安全や危険についてどのようになっているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

* 第1回と同じ番号を記入してください。

No	年 氏名	【記入日】 平成 年 月 日	性 別
			(1 男 2 女)

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

質問 1 次のそれぞれの文について、「1. そう思う」～「4. そう思わない」の中から、あなたの意見
にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに
答えてください。

- Q 1 あなたがけがをした場合、その原因は自分がとった行動にあると思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 2 あなたがけがをする時は、注意しても避けられないと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 3 あなたは、自分の工夫や努力によってけがを防げると思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 4 あなたがけがをした場合、それは自分自身よりも環境のせいだと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 5 あなたは、運が悪いからけがをすると思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 6 あなたは、自分ならば大きなけがをすることはないと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 7 あなたは、けがをする危険があっても、スリルのあるスポーツをしたいと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 8 あなたは、自分が他人をけがさせることはないと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 9 あなたは、スポーツでけがをするのはあたりまえだと思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q 10 あなたは、自分がいつも安全に行動していると思いますか。 4. そう思わない
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

質問 2 次のQ1～Q6について、あなた自身にとって重要であるかどうか、「1. 重要だ」～「4. 重要
ではない」の中からひとつえらんで、番号に○をつけてください。

Q 1 勉強でよい成績をとること

安全に関する意識調査(第6、7回2、3年生用)

この調査は、皆さんが安全や危険についてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

*第1回と同じ番号を記入してください。

No	年 氏名	【記入日】	平成	年	月	日
	性 別		(1 男 2 女)			

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

質問 1 次のそれぞれの文について、「1. そう思う」～「4. そう思わない」の中から、あなたの意見にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

- Q1 あなたがけがをした場合、その原因は自分とった行動にあると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q2 あなたがけがをする時は、注意しても避けられないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q3 あなたは、自分の工夫や努力によってけがを防げると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q4 あなたがけがをした場合、それは自分自身よりも環境のせいだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q5 あなたは、運が悪いからけがをすると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q6 あなたは、自分ならば大きなけがをすることは無いと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q7 あなたは、けがをする危険があっても、スリルのあるスポーツをしたいと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q8 あなたは、自分が他人をけがさせることはないと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q9 あなたは、スポーツでけがをするのはあたりまえだと思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q10 あなたは、自分がいつも安全に行動していると思いますか。
1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

質問 2 次のQ1～Q6について、あなた自身にとって重要であるかどうか、「1. 重要だ」～「4. 重要ではない」の中からひとつえらんで、番号に○をつけてください。

- Q1 勉強でよい成績をとること
1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 4 日用品を買うときは、安全かどうかに注意して選ぶ。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 5 危ない場所には近づかない。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 6 人から危険なことをするようにさせられても、ことわる。
1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 5 次のそれぞれの質問に対して、あてはまる番号に○をつけてください。

Q1 あなたは、自動車に同乗するとき、シートベルトをつけますか。

1. いつもつける 2. ときどきつける 3. つけない

Q2 あなたは、暗くなつてから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。

1. いつもつける 2. ときどきつける 3. つけない 4. 自転車には乗らない

Q3 あなたは、自転車の二人乗りをしますか。

1. しない 2. ときどきする 3. よくする 4. 自転車には乗らない

Q4 あなたは、道路を歩いているときや自転車で乗っているとき、信号を無視して道路を横断するなど交通法規を無視することがありますか。

1. ない 2. ときどきある 3. よくある

Q5 あなたは次の応急手当の中で、自分ができる方法がありますか。それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。

- ア. 人工呼吸 1. できる 2. できない 3. 知らない
- イ. 心臓マッサージ 1. できる 2. できない 3. 知らない
- ウ. 止血法 1. できる 2. できない 3. 知らない
- エ. 骨折の固定 1. できる 2. できない 3. 知らない
- オ. 熱中症（日射病など）の対処 1. できる 2. できない 3. 知らない
- * 「2. できない」＝習ったことはあるができないとき
- * 「3. 知らない」＝習ったこともなく知らないとき

質問 6 あなたが、ふだんの生活の中で、けがや安全のことで気になることがありましたら、下に書いてください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございます。

一般社団法人 日本学校歯科医会
スポーツ外傷防止教育普及委員会

- Q 4 日用品を買うときは、安全かどうかに注意して選ぶ。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 5 危ない場所には近づかない。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 6 人から危険なことをするようにきそわれても、ことわる。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- 質問 5** 次のそれぞれの質問に対して、あてはまる番号に○をつけてください。
 Q1 あなたは、自動車に同乗するとき、シートベルトをつけますか。
 1. いつもつける 2. ときどきつける 3. つけない
 Q2 あなたは、暗くなつてから自転車に乗るとき、ライトをつけますか。
 1. いつもつける 2. ときどきつける 3. つけない 4. 自転車には乗らない
 Q3 あなたは、自転車の二人乗りをしますか。
 1. しない 2. ときどきする 3. よくする 4. 自転車には乗らない
 Q4 あなたは、道路を歩いているときや自転車で乗っているとき、信号を無視して道路を横断するなど交通法規を無視することがありますか。
 1. ない 2. ときどきある 3. よくある
- Q5 あなたは次の応急手当の中で、自分ができる方法がありますか。それぞれ、あてはまる番号に○をつけてください。
 ア. 人工呼吸 1. できる 2. できない 3. 知らない
 イ. 心臓マッサージ 1. できる 2. できない 3. 知らない
 ウ. 止血法 1. できる 2. できない 3. 知らない
 エ. 骨折の固定 1. できる 2. できない 3. 知らない
 オ. 熱中症（日射病など）の対処 1. できる 2. できない 3. 知らない
 * 「2. できない」＝習ったことはあるができないとき
 * 「3. 知らない」＝習ったこともなく知らないとき
 *

質問 6 以下の文は、昨年から野球部で取り組んだスポーツの安全についての質問です。次のそれぞれの設問について、1～4の中から、あなたの考えにもっとも近いものを1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 これまでの野球部での安全への取り組みは、現在までの生活で自分の安全確保に役立ったと思いますか。
 1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q2 これまでの野球部での安全への取り組みは、これからの生活で自分の安全確保に役立つと思いますか。
 1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q3 あなたは、マウスガードが野球での安全確保に役立つと思いますか。
 1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない
- Q4 あなたは、今後も野球を続けるとしたら、有償でもマウスガードを使用したいと思いますか。
 1. そう思う 2. ややそう思う 3. ややそう思わない 4. そう思わない

(裏面に続く)

- Q 2 スポーツでよい成績をとること
 1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 3 自分のとった行動に責任をもつこと
 1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 4 学校の規則を守ること
 1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 5 社会の規則を守ること
 1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない
- Q 6 健康で安全な生活をおくこと
 1. 重要だ 2. やや重要だ 3. やや重要ではない 4. 重要ではない

質問 3 以下の質問は、部活動などスポーツについての質問です。それぞれの文について、「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 スポーツによって起こるけがに関心がある。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q2 スポーツによって起こるけがについて、自分で調べたことがある。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q3 スポーツをする時には、けがの防止について仲間と話し合うことがある。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q4 スポーツをしていて自分がけがをしたり、痛みを感じたら先生やコーチにすぐにそのことを伝える。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q5 スポーツ用具を使う場合、けがをしないように注意して使う。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q6 スポーツ用具を選ぶ場合、より安全な用具を選ぶようにしている。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q7 スポーツをしている時、けがをしないように他の人に注意することがある。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q8 スポーツをしている時、自信を持って安全に行動している。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

質問 4 以下の質問は、スポーツ以外の日常生活についての質問です。それぞれの文について、「1. あてはまる」～「4. あてはまらない」の中から、あなたの状況にもっとも近い回答を1つ選んで、番号に○をつけてください。

- Q1 日ごろからけがをしないように注意している。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 2 家電製品などを使うときは、使用説明書をよく読む。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない
- Q 3 幼児やお年寄りけがをしないように、気を付けている。
 1. あてはまる 2. ややあてはまる 3. ややあてはまらない 4. あてはまらない

この調査は、皆さんがマウスガードについてどのように考えているかを調査するものです。
この調査はテストではありませんので、思ったとおりに答えてください。

年 氏名	【記入日】 平成 年 月 日	性 別
		(1 男 2 女)

※ 次のQ1～Q3について、あなたの意見にもっとも近い回答を選んで、番号に○をつけてください。回答は迷わず、感じたままに答えてください。

※ 性別は、該当する番号を○で囲んでください。

- 1 あなたは (自作した市販の) マウスガードを、次のような時につけていますか。
それぞれ当てはまるものを1つずつ選んで、番号に○をつけてください。
- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 必要だと思った時は、いつもつけている | 2. 必要だと思った時は、ときどきつけている |
| 3. 必要だと思った時も、ほとんどつけていない | 4. 全くつけていない |
- Q1 打撃練習 (1 、 2 、 3 、 4)
Q2 守備練習 (ノックを含む) (1 、 2 、 3 、 4)
Q3 試合やゲーム形式の練習 (1 、 2 、 3 、 4)
Q4 ランニング、筋力トレーニングなどの基礎練習 (1 、 2 、 3 、 4)
- 2 前の質問 (Q1～4) で1又は2と答えたものがある人にお聞きします。
Q5 マウスガードをつけようと思った理由はなんですか。(複数回答可)
- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. ケガに対する安心感 | 2. 自分の体をケガから守りたいから |
| 3. 自分の歯や口は大切に守りたいから | 4. 自分の脳は大切に守りたいから |
| 5. 自分の顔や首は大切に守りたいから | 6. 相手にケガをさせたくないから |
| 7. その他(具体的に) | |
- 3 前の質問 (Q1～4) で2、3又は4と答えたものがある人にお聞きします。
Q6 マウスガードをつけなかった理由はなんですか。(複数回答可)
- | | | |
|---------------|------------|-------------------|
| 1. 話づらい | 2. つばがたまる | 3. 息ができない(呼吸が苦しい) |
| 4. 吐気がする | 5. 顎が疲れる | 6. はずれる |
| 7. 違和感が強い | 8. 変なおいがする | 9. 変な味がする |
| 10. その他(具体的に) | | |

質問 7 昨年から取り組んだ野球部でのスポーツの安全への取り組みやマウスガードの使用などについて、役に立ったと思われる体験や感想・意見などがあつたら、自由に書いて下さい。

以上。
アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

